

# 第20回 全国街路事業コンクール

# 優 秀 賞

## 名古屋市緑政土木局道路部橋梁課

## 近鉄名古屋線・JR関西本線連続立体交差事業

表彰事業名	近鉄名古屋線・JR関西本線連続立体交差事業		
表彰対象者	名古屋市緑政土木局道路部橋梁課		
都市名	名古屋市	事業主体	名古屋市
事業概要	<p>この事業は、名古屋駅から西へ、中村区と中川区の区界を並行に運行し四日市方面とを結ぶ『JR関西本線』と『近鉄名古屋線』を黄金橋付近から庄内川付近までの間、延長約3.5kmを2路線同時に高架化する事業です。本事業により、15か所の踏切が除却され、交差道路は都市計画道路3路線を含む20か所を新設しました。併せて、側道としてJR側4路線・近鉄側3路線の計7路線の都市計画道路の整備も実施しました。</p> <p>八田地区においては、本事業にあわせて近鉄とJRの両駅を地下鉄八田駅付近に移設し、地下連絡や立体横断施設などで連結し、さらに自動車やバスの発着などが可能になる駅前広場の整備を行うことにより総合駅が完了しました。</p> <p>○事業延長： 約3.5km ○総事業費： 約660億円 ○事業期間： 平成5年度～平成18年度</p>		
表彰理由	<p>本事業の完成により、慢性的な交通渋滞の解消と南北方向の交通改善や鉄道で分断されていた地域が一体化され、市街地の活性化が図られたことが高く評価された。</p> <p>また、八田地区において、本事業に併せて近鉄とJR及び地下鉄八田駅とを集約化したことにより、乗り継ぎが容易となったことや、駅前広場を整備したことにより、地域の活性化が図られたことも評価された。</p>		

